

資 料

金融商品会計に関する日韓の実態調査	李 善 馥	95
-------------------	-------	----

第65巻 第4号 (1996年1月)

三浦一教授 定年退職記念号

三浦一教授の定年退職に寄せて	竹 内 一 樹	i
三浦一教授の履歴と研究業績		iii

論 文

消費者の空間行動

——地理学の視点から——	佐 藤 俊 雄	1
商品の物神性と貨幣	原 亨	17
企業行動と倫理的価値	菊 池 敏 夫	27
第一次世界大戦後の貯蓄奨励政策と貯蓄組合 (補論)		
——神奈川県における事例紹介と若干の分析——	岡 田 和 喜	37
協同組合としての信用組合	安 田 原 三	49
起債増加の影響要因について	室 本 誠 二	59
年金会計をめぐる国際的争点		
——国際会計基準『討議資料退職給付コスト』(1995年)の検討——	今 福 愛 志	75
会計のグリーン化と環境管理監査の役割	青 柳 清	85
経営計数からみたわが国金融機関の現状分析	杉 本 文 雄	107
阪神大震災に起因する損傷貨物と適切なトレード・タームズを選択について		
——運送人責任、海上保険との関連で——	小 林 晃	133
教育機関における政府契約原価の計算	山 口 達 良	163
米国貯蓄貸付組合の経営危機と会計問題	田 中 建 二	175
経営組織における「集団」の位相	廣 井 孝	189
W. C. ミッチェルのアルフレッド・マーシャル批判	齋 藤 宏 之	203
研究ノート		
東独におけるKfWの役割とその効果	野 田 裕 康	221
中国西藏地区における伝統的な農業経済及びその民主改革の過程	賈 京	249
書 評		
上村能弘著『合衆国の棉花金融史研究』	楠 井 敏 朗	265

第66巻 第1号 (1996年4月)

論 文

日本の「雇用システム」について		
——その変化をどうみるか——	牧 野 富 夫	1

経営計数からみたわが国自動車会社の分析

——自動車企業20年間の分析——	杉本文雄	15
産業内貿易に関する歴史的・理論的考察	本多光雄	83
1980年代からのアメリカの景気回復と構造変化	本間直行	95
日本の社会保障の負担と給付	阿部喜三	129

第66巻 第2号 (1996年7月)

論文

90年代の日本の賃金

——変化の特徴——	牧野富夫	1
-----------	------	---

経営計数からみたわが国医薬品企業の分析

——医薬品会社20年間の分析——	杉本文雄	15
日本の産業内貿易:ヨーロッパ5カ国に関する考察	本多光雄	83
フランス絶対主義における大領主	小林良彰	123

The General Relationship between Percent Changes in Nominal GDP, the Money Supply, and the Velocity of Money, and between Percent Changes

in Nominal GDP and Real GDP, and the Inflation Rate	Charles Shami	139
---	---------------	-----

ソースタイン・ヴェブレンの思想の起源

——ウィリアム・M・ダガーの見解について——	佐々木 晃	155
------------------------	-------	-----

スロヴァキアの経済発展に関する一考察	池本修一	169
--------------------	------	-----

日本農法と立体化の論理

——宮城県仙南加工連を事例として——	内藤 勝	179
--------------------	------	-----

介護保険の検討

——我国における介護保険導入をめぐる論点——	鈴木 明	223
------------------------	------	-----

書評

今福愛志著『企業年金会計の国際比較』	中野 誠	235
三好義之助著『フランスの保険事業』	小林 晃	239

第66巻 第3号 (1996年10月)

特別講演

情報化と大学

——会津大学の歩み——	國井利泰	1
-------------	------	---

論文

銀行リストラ下の雇用・賃金	牧野富夫	13
---------------	------	----

経営計数からみたわが国高炉鉄鋼企業の分析

——高炉鉄鋼会社20年間の分析——	杉本文雄	25
-------------------	------	----

ジョン・R・コモンスの経済思想の背景	齋藤宏之	101
--------------------	------	-----

研究ノート

年金債務の会計制度問題	今 福 愛 志	117
ドイツにおける医療保障改革		
——疾病保険費用抑制法から保険制度改革法まで——	小 棚 治 宣	137

第66巻 第4号 (1997年1月)

井手生教授 定年退職記念号

井手生教授の定年退職に寄せて	竹 内 一 樹	i
井手生教授の履歴と研究業績		iii

論 文

綿工業資本主義の時代(1820-50年)の史的位

——世界資本主義の第I段階の史的意義——	入 江 節次郎	1
現代日本資本主義分析の一視角	木 村 隆 俊	13
ケインズ貨幣経済論への1行程	中 山 靖 夫	23
食糧安全保障論と「世界食料サミット」	馬 場 昭	33
独占禁止政策と適用除外制度		
——中小企業等協同組合を中心に——	福 島 久 一	45
「第4次産業」とサービスの性格	斎 藤 重 雄	55
フォン・ノイマンの成長モデルにおける均衡成長解の存在の別証について	本 間 祥 介	65
経営計数からみた日・米製造業の比較分析	杉 本 文 雄	73
政府資金支出による研究・開発センターにおける契約利益の算定	山 口 達 良	91
米国における経済政策の潮流	春 田 素 夫	101
ケインズ理論における総需要曲線の意味について	中 村 貢	113
現代マクロ経済学	瀬 古 美 喜	123
ロシアのインフレーション	栖 原 学	131
バブル景気と労働需給	水 村 光 一	143
遺伝的アルゴリズムを用いた購買行動のモデル化	寺 沢 幹 雄	157

第67巻 第1号 (1997年4月)

論 文

企業の財務的意思決定に係わる要因分析	室 本 誠 二	1
「近代社会」止揚の難問解決への道	高 須 裕 三	21
ソースタイン・ヴェブレンの人間行動の概念		
——デイヴィッド・ハミルトンの見解について——	佐々木 晃	33

第67巻 第2号 (1997年7月)

論 文

経営計数からみたわが国金融機関の分析	杉本文雄	1
A Generalized Keynesian Macroeconomic Model of an Economy	Charles Shami	65
ソースタイン・ヴェブレンの限界効用経済学批判	齋藤宏之	97
イギリスにおける砂糖ファクターの機能	上村能弘	111
企業行動の国際化と権限関係		
——多国籍企業における集権と分権——	佐々木一彰	137
研究ノート		
英国 ASB『原則書』の財務諸表要素に関する一考察	佐藤信彦	149
ドイツ社会政策の形成に関する史的考察		
——プロイセン初期工場法から8時間労働日制に至るまで——	小柳治宣	161

第67巻 第3号 (1997年10月)

馬場昭教授 定年退職記念号

馬場昭教授の定年退職に寄せて	竹内一樹	i
馬場昭教授の履歴と研究業績		iii
論 文		
高密度農村社会論	馬場昭	1
中小金属部品工業の構造変化		
——東京ネームプレート工業の実態調査を通して——	福島久一	15
世界地域グループと日本の貿易構造と比較優位		
——産業内貿易と国際競争力を中心として——	本多光雄	37
転職市場の成長から見た人事労務管理制度の課題	岩出博	65
日本福祉国家再建の道		
——生活文化としての陰陽哲学への回帰——	高須裕三	93
ソースタイン・ヴェブレンと科学技術		
——デイヴィッド・ハミルトンの見解について——	佐々木晃	105
ホーウィットのキャッシュ・イン・アドバンス制約批判, その意味するもの	北村宏隆	119
二項確率変数の和の分布について	増田賢司	135
W.C. ミッチェルのジョン・ベイツ・クラーク批判	齋藤宏之	145
A Study of the Significance of State Intervention in the Korean Economic Development: With Special Reference to the Period of the 1960s and 1970s		
.....	辻忠博	163
日本農法と圃場の経済的考察	内藤勝	179

第67巻 第4号 (1998年1月)

論 文

合成繊維工業の歴史的地位	木村隆俊	1
日本の21世紀向け「農耕・観光」産業の重要性とその文化的基礎	高須裕三	21
平行線と針の交点数の分布	増田賢司	35
The Changing Nature of the 'Development State' in Korea: From Park Chung Hee's to Kim Young Sam's Regime	辻忠博	43
研究ノート		
産出量の長期均衡成長率	本間祥介	75

第68巻 第1号 (1998年4月)

論 文

Why a One Percent Inflation Rate and a One Percent Unemployment Rate are not the Same Over Time, the Annual Social Cost of U. S. Inflation, and Macroeconomic Elasticities for the U. S. Economy	Charles Shami	1
日米経済摩擦の終焉	阿部喜三	49
平行線と複数の針の交点数の分布	増田賢司	79
A Study of the Relationship between Quality Differentiation and the Patent Race	有馬守康	87
研究ノート		
新国際会計基準「従業員給付」の論点	今福愛志	97
総合商社A社の使用するトレード・タームズの地域、国別分析	小林晃	107

第68巻 第2号 (1998年7月)

論 文

General Formulas for Some Microeconomics Concepts Applicable to Finite and Infinitesimal Changes in the Variables	Charles Shami	1
ネットワーク効果と代替技術の存在が企業のR&D支出に与える影響についての一考察	有馬守康	25
研究ノート		
中国・シンガポール蘇州工業団地開発の現状と課題	辻忠博	35

第68巻 第3号 (1998年10月)

木村隆俊教授 定年退職記念号

木村隆俊教授の業績と人柄	竹内 一 樹	i
木村隆俊教授の履歴と研究業績		iii
論 文		
愛知同盟銀行会の成立と展開	岡田 和 喜	1
グローバル化時代における中小企業の構造問題と新展開 ——中小企業政策の方向性を求めて——	福島 久 一	39
サービスの労働力価値形成過程 ——最近の論争の検討——	斎藤 重 雄	59
経営計数からみたわが国タイヤ業界各社の比較 ——タイヤ会社20年間の比較——	杉本文 雄	75
総需要外部性による協調失敗と金融政策の有効性	北村 宏 隆	117
針と針の交点数について	増田 賢 司	135
W.C. ミッチェルのハーバート・J・ダヴェンポート批判	斎藤 宏 之	153
90年代不況の史的構造	矢部 洋 三	163
水利開発と地域農業の発展 ——群馬県新田郡藪塚本町を事例として——	飯島 正 義	177
提 言		
Proposals for Incoterms 2000	小林 晃 亀田尚己他	197
書 評		
岡田和喜編著『「中央銀行会通信録」解題・記事総索引』	植田 欣 次	245

第68巻 第4号 (1999年1月)

菊池敏夫教授 定年退職記念号

菊池敏夫教授の定年退職に寄せて	竹内 一 樹	i
菊池敏夫教授の履歴と研究業績		iii
論 文		
経営行動と自己規制力 ——経営学の分化と統合の視点から——	菊池 敏 夫	1
環境問題と製造工程に組み込む企業行動 ——電機・電子産業を中心に——	石山 伍 夫	5
信用組合のガバナンス問題	安田 原 三	17
財務情報の開示責任と監視機構	室本 誠 二	25

財務業績の報告と年金会計問題

——イギリス ASB 第 2 次討議資料「年金コスト会計の諸側面」を中心として——	今 福 愛 志	37
粉飾経理と Fraud Auditing	青 柳 清	47
ポスト・ケインジアン の完全雇傭維持政策	本 間 祥 介	57
I/S・B/S からみたわが国タイヤ業界各社の比較		
——タイヤ業界20年間の比較——	杉 本 文 雄	65
米国における新しいデリバティブ会計基準	田 中 建 二	105
The Comambault Company Revisited	佐々木 恒 男	113
ヴェブレンの経済思想の現代的意義	佐々木 晃	129
アメリカにおける LLC (Limited Liability Company) とコーポレイト・ガバナンス	廣 井 孝	145
遺伝的アルゴリズムを用いた旅客輸送シミュレーション	寺 沢 幹 雄	155
移行経済における大衆私有化	池 本 修 一	161
現代企業理論の課題		
——資源ベース・アプローチを中心として——	牧 野 勝 都	181
A Study of Determinants of Foreign Direct Investment	井 尻 直 彦	191
研究ノート		
総合商社A社の使用するトレード・タームズの商品別分析	小 林 晃	231

第69巻 第1号 (1999年4月)

川島陸夫教授 定年退職記念号

川島陸夫教授の業績と人柄	竹 内 一 樹	i
川島陸夫教授の履歴と研究業績		iii
論 文		
「資本の所有」と企業金融	原 亨	1
最近の賃金体系の変化		
——「成果主義賃金」導入の背景・ねらい——	牧 野 富 夫	13
サービスの生産と生産物, 消費	斎 藤 重 雄	29
均衡成長径路の Knife-edge 的な不安定性について	本 間 祥 介	43
日・米企業における自己資本比率の比較		
——製造業23年間の比較——	杉 本 文 雄	51
ハイテク産業における国際競争力の比較分析		
——日本・米国・スウェーデンのケース——	本 多 光 雄	111
市場経済論について		
——市場万能論批判——	三 宅 忠 和	131
The Relative Effectiveness of Monetary Policy versus Fiscal Policy: A Theoretical and Empirical Analysis	Charles Shami	143

「労使妥協」概念について

——日本における「フォーディズム」論の批判的検討——	木暮雅夫	197
政策の学問の論理		
——とくに「生活文化」との関聯において——	高須裕三	211
福祉と雇用		
——高齢社会の展望と課題——	降矢憲一	223
ビスマルク社会保険の「効果」に関する一考察	小柳治宣	239
仮想空間における非言語情報通信支援手法	寺沢幹雄	263
A Reassessment of the Role of the State in the East Asian Miracle: With Reference to Korea, Taiwan and Singapore in the 1960s and 1970s	辻忠博	273
研究ノート		
昭和初期、東北開発の展開とその特徴	金尚奎	297

第69巻 第2号 (1999年7月)

論文

経営計数からみたわが国石油精製業界各社の比較

——石油精製会社23年間の分析——	杉本文雄	1
Operational Elasticity Measures of U. S. Corporate Efficiency	Charles Shami	59
最近の消費と貯蓄の動向	阿部喜三	91

第69巻 第3号 (1999年10月)

論文

製造業各社における ROE の比較	杉本文雄	1
フランス革命期における銀行家	小林良彰	29
複数均衡を伴う単純なマクロ経済における政策効果のトレードオフ	北村宏隆	47
クラレンス・エアーズと科学技術	佐々木晃	67
1920年代日本の対満州貿易分析	木村隆俊	79
W. C. ミッチェルのリカード経済学批判		
——リカード経済学の先入観をめぐって——	塚本隆夫	109
W. C. ミッチェルのドイツ歴史学派批判	齋藤宏之	125
スラッフア体系における尺度について	藤井盛夫	139
書評		
小林 晃著『我国で使用されるトレード・タームズの実証的研究』	来住哲二	149

第69巻 第4号 (2000年1月)

論 文

中小企業政策の大転換

——中小企業基本法の改正をめぐって——…………… 福 島 久 一 1

サービス経済論争の一断面

——「消費労働」とリプライをめぐって——…………… 斎 藤 重 雄 19

1980年代における EC 産業…………… 本 間 直 行 33

Redefining the Elasticity of Substitution of Capital for Labor in Cobb-Douglas-Type and CES-Type Production Functions: Correcting a Theoretical Error in Production Function Theory that has persisted for 68 Years…………… Charles Shami 53

スラッフア『商品による商品の生産』第22節について…………… 藤 井 盛 夫 75

発展途上国の経済開発に関する三部門発展モデルの分析

——理論モデルの構築を中心として——…………… 陸 亦 群 87

研究ノート

昭和製鋼所の設備・機械に関する一考察

——1930年代前半, 内外製造別分析を中心にして——…………… 張 乃 麗 103

書 評

木下達雄著『国際航空貨物運送の理論と実際』…………… 小 林 晃 123

第70巻 第1号 (2000年4月)

論 文

「市場の失敗」のパラダイム・シフト…………… 中 山 靖 夫 1

Proof of the Mathematical Bias of the Calculus Distributive Shares Equation of a Homogeneous, Log-linear Production Function of the Form, $Y = T^\theta K^\alpha L^\beta$, when the Function is Homogeneous of Degree Greater than Zero and Not Equal to One, and when Changes in Technology, Capital, and Labor are Finite…………… Charles Shami 15

ソースタイン・ヴェブレンのグスタフ・シュモラー批判…………… 齋 藤 宏 之 45

労働移動の制約と産業集積

——国境の存在と産業立地との関連性——…………… 呉 逸 良 55

資 料

スラッフアの卒業論文について…………… 藤 井 盛 夫 71

第70巻 第2号 (2000年7月)

論 文

経営計数からみたわが国企業の設備投資	杉本文雄	1
Examining the Mathematical Bias of the Fisher Equation, $i=r+\pi$, for a Discrete, One-Period Time Horizon	Charles Shami	27
現代資本主義論再審	木村隆俊	35
W. C. ミッチェルのヴェルナー・ゾムバルト批判	齋藤宏之	65
On Another Approach to the Complexity of a Graph	松岡勝男 竹中淑子	77
スラッファ体系の「中心的な命題」と「生産方法の切り換え」について —『商品による商品の生産』英語版とイタリア語版の相違の観点から—	藤井盛夫	87
東アジア経済の相互依存と金融市場の効率性	福田公正	113
Government Policy and Economic Growth: Singapore's Experience	辻忠博	125
研究ノート		
会計測定における割引現在価値 — SFAC 7号『会計測定におけるキャッシュ・フロー情報と現在価値の使用』を中心に—	佐藤信彦	145
入学試験と偏差値	増田賢司	165
東北開発の展開とその特徴 —戦後から高度成長期前まで—	金尚奎	171

第70巻 第3号 (2000年10月)

論 文

「日本的労使関係」の新段階 —労使協調主義のゆくえ—	牧野富夫	1
経営計数からみたわが国企業の退職給付債務	杉本文雄	13
日韓・日中の貿易構造 —産業内貿易を中心として—	本多光雄	41
市民革命の一般理論	小林良彰	55
マッチング技術とサーチ外部性の関係からみた協調の失敗問題	北村宏隆	75
スラッファ『商品による商品の生産』第一部・第二部と第三部との結節点について —第87節と第88節の検討—	藤井盛夫	95
2画像から復元した物体の影表示	寺沢幹雄	105
Trend-Cycle Decomposition for the Unit Root Test	福田公正	111

本溪湖煤鉄公司設備・機械の内外製造別分析……………	張	乃 麗	121
書 評			
横山研治著『航空運送と貿易システム——その構造変化過程——』……………	小 林	晃	151

第70巻 第4号 (2001年1月)

加藤義喜教授 定年退職記念号

加藤義喜教授の定年退職に寄せて……………	竹 内	一 樹	i
加藤義喜教授の履歴と研究業績……………			iii
論 文			
サービス経済論の方法をめぐって			
——刀田和夫氏の見解を中心に——……………	斎 藤	重 雄	1
退職給付会計基準と配当可能利益問題			
——株主と従業員間の利害調整に関連して——……………	今 福	愛 志	25
産業内貿易の動向と問題……………	本 多	光 雄	39
Issues on New Trade Terms, FCA, CPT and CIP: In relation to Cargoes damaged at Kobe Port due to the Great Hanshin Earthquake……………	小 林	晃	55
An Estimation of a Long-term Production Index for Soviet Industry: 1913- 1990……………	栖 原	学	67
t-Tests for Determining Structural Change, and the Mathematical and Statis- tical Interdependence between the Intercept and Slope Parameters in Simple Linear Regression Analysis……………	チャールス・シャミ		101
1920年代日本の「軍事機構」分析……………	木 村	隆 俊	139
スラッファ体系における生産方法の「安さ」について……………	藤 井	盛 夫	165
実時間視点モーフィングのためのテクスチャ処理……………	寺 沢	幹 雄	171
海外直接投資の展開と政府の役割			
——日本のアジア・北米向け海外投資を中心として——……………	辻	忠 博	177
韓国の対外直接投資と国際競争力の高度化……………	井 尻	直 彦	195
研究ノート			
最適経済成長論の予備的分析……………	本 間	祥 介	223
オーストラリアの財務会計概念フレームワーク……………	佐 藤	信 彦	227
戦後日本の工作機械産業の技術革新と再編化……………	須 原	祥 介	247
戦後農産物輸入体制と農業基本法下での自由化のメカニズム			
——低関税と輸入制限の併存——……………	新 海	宏 美	257